



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和4年10月1日 第6号

小笠原村立小笠原中学校

校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



いのちの授業を通して

校長 椎橋 秀行

10月に入りました。これまで10月2日開催予定の小中高連合運動会に向けて、生徒たちは汗を流しながら練習や準備に取り組んできました。コロナ対策のため、昨年同様に半日のプログラムや観客の制限などがありますが、精いっぱい頑張りとともに思い出に残る運動会になることを期待しています。

また、9月10日には、医師の久住英二氏、かつてご自身ががんを経験した鈴木美穂氏、ロハス・メディカル・ジャパンの川口利氏を講師として、「いのちの授業～がんを通して」が行われました。オンラインで内地・父島・母島を繋ぎ、小笠原村の全中学生が同時に授業を受けました。いのちの大切さとともに、生き方なども学ぶ機会になりました。

私が中学校の教員になって、最初の学校に勤めていたとき、こんな歌が流行りました。

「♪負けない事・投げ出さない事・逃げ出さない事・信じ抜く事、駄目になりそうな時それが一番大事」(大事MANブラザーズ「それが大事」) 3年生を送る会などで卒業生に向けて教職員で歌った記憶があります。この曲は、1991年の作品。世の中は「24時間戦えますか」などのCMが流行った、日本経済のバブルが崩壊した頃です。

実は、この曲には2016年に発表されたアンサーソングがあります。「神様は手を抜かない」という曲で、歌詞は「♪負けてもいい・投げ出してもいい・信じ抜けないこともあるだろう、泣いてもいい・逃げ出してもいい・全力で自分を擁護しろ。」

この頃は、特に高止まりする若年層の自殺が問題視され始めていた頃でした。学校でも、様々な困難・ストレスの対処方法の教育として「SOSの出し方」や、命の大切さを実感できる教育の実施がされるようになりました。

いつだったか、タレントの明石家さんまさんが「生きてるだけで人生丸儲け」と話していました。最初に乗る予定だった飛行機が墜落した経験から悟って使うようになったかと思いますが、タレントの笑い話ではなく、案外意味の深い話だと感じた記憶があります。

余談になりますが、「神様は手を抜かない」の歌詞の結びを紹介します。

「♪自分を過去を悔やめば未来は遠い。過去を学べば未来は近い。後ろを向けば影を見ちまうから光の方を向いて行こう！」

第1学年 母島移動教室

第1学年主任 小林 政輝

9月6日(火)～8日(木)の2泊3日で母島移動教室を行いました。出発時に雨に降られましたが、3日間とも天候に恵まれ、行程を大きく変更することなく中学校生活最初の宿泊行事を終えることができました。移動教室中はスローガンである『楽輝絆全』を達成しようと、様々なことに取り組みました。

1日目は急な雨に打たれながら、保護者や先生方に見送られ、予定通りに出発しました。午前中は、母島内を5つの班に分かれて班行動をしました。ロース記念館や鮫ヶ崎展望台、石次郎海岸などを回りました。チェックポイントで先生のチェックを受け忘れそうになった班もありましたが、全班時間内に集合することができました。午後は、2つのグループに分かれて営農研修所と農家(稲垣さん)の農園に行きました。小笠原の農業の歴史や特色について学ぶことができました。積極的に質問する姿が見られ、より深い学びになりました。その後、御幸之浜に行きましたが、波が大きく貨幣石を間近で見ることができませんでした。夜は実行委員主催のレクリエーション(だるまさんが転んだ、人狼



ゲーム)を行いました。より一層、学年のみんなの仲が深まりました。

2日目は石門に登りました。セキモンノキやセキモンウライソウ、オガサワラオカモノアラガイといった石門でしか見ることのできない動植物をたくさん見ることができました。事前学習で調べた動植物もガイドさんの説明を受けながら生で見ると特徴がよく分かり、理解が深まりました。6時間を超えるハードワークでしたが、たくさん勉強できた1日でした。



3日目は、2つのグループ分かれてカカオ農園(折田さん)と探照灯基地跡などの戦跡の見学をしました。カカオ農園では栽培の難しさや収穫量を増やす工夫について学びました。農園を見るだけでなく、実際にカカオの実を持たせてもらったり、食べさせてもらったりしました。戦跡の見学では探照灯や砲台を間近で見ることができ、残された戦跡と資料から当時の様子を想像

しながら、平和について考えました。母島近海の海でイルカに見送られ、予定通り父島到着しました。

3日間とも天気が良く、長い時間歩き続けたので、解散時は少し疲れた顔をしていましたが、生徒1人1人にとって、素敵な思い出となったことでしょう。事前学習で挙げた疑問も自分の目で確かめたり、質問したりして解決しようとする姿が見られました。一方で課題が残ってしまったことも事実です。先を見越して余裕のある行動がとれるように普段の学校生活から意識していきましょう。最後になりますが、母島移動教室に携わったすべての方々に感謝いたします。



海洋センターボランティア

生徒会福祉委員会担当 小島 尚子

9月2日(金)に小笠原海洋センターのご協力のもと、海洋センターボランティアを実施しました。今年度も企画と運営を生徒会の福祉委員会が務め、8名の福祉委員が活動前後の全体会を進行しました。生徒たちは、製氷海岸清掃・アオウミガメの卵の移植・水槽清掃・草刈りの分担に分かれて1時間程度作業を行いました。暑い中での作業となりましたが、それぞれの活動に一生懸命取り組みました。海岸では大きな漁網やプラスチック、金属ゴミを収集し、草刈りの生徒たちも汗だくになりながら草むしりをしました。水槽清掃と卵の移植担当の生徒は、アオウミガメや卵と触れ合いながら、小笠原の海や生き物に対する理解を深められたと思います。この活動を通して、海洋センターの活動を知るとともに、地域に貢献する意識やボランティア精神を高めるきっかけにしてほしいです。



水槽清掃



海岸清掃



草刈り



卵の移植

いのちの授業～がんを通して

研究主任 野内 由紀子

9月10日(土)に「いのちの授業～がんを通して」が行われました。この授業は、「いのち」の大切さや自分の生き方を考えてもらうきっかけづくりとして、中学生を対象に行われている事業です。

当日は内地と小笠原中学校、母島中学校をリモートで繋ぎ、医師の久住英二様より「がんは身近なもの」、元がん患者の鈴木美穂様より「がんを経験して」というテーマでお話をいただきました。

生徒は講師の先生方のお話を真剣に聞き、また質疑応答の時間には進んで手を挙げ、がんと告知された時の心境や、仕事についてなどを質問しました。

生徒の感想を紹介します。

「私は初め、死がとても怖いと感じていました。しかし、医師の久住英二さんの話の中に出てきたある一言で考えが変わりました。その言葉は、『限られた人生だから楽しい』です。私はその言葉を聞いて、必ず死が訪れる限られた人生だから、人生をより楽しいものにしたい、後悔しないようにしたいと思えるのかなと思いました。もしいつまでも生きられると分かっていたら、人生を大切にしないのかなと思いました。そして、死とは一つのゴール地点だと思いました。自分の努力が足りなくて後悔することがないように、これから1日1日を大切にしようと思いました。そして、周りの人と支え合って、色々な経験をする人生にしたいです。」

3年生女子



事前学習、当日の授業、事後学習を通し、生徒一人一人が命についてより深く考えることができました。講師の久住英二様・鈴木美穂様、株式会社ロハス・メディカル・ジャパンの川口利様をはじめとするご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

令和4年度 生徒会役員選挙

生徒会担当 多久 優麗花

今年度の生徒会役員選挙は、生徒会長(定員1名)に1名、副会長(定員1名)に1名、書記(定員2名)に2名の立候補となり、定数を超えなかったため、信任投票での選挙となりました。立候補者は2学期に入ってから定期考査の勉強と並行してポスター作成や挨拶運動、演説に向けた練習をしてきて、それぞれが自分が生徒会役員になりたい意欲をアピールしてきました。

9月26日(月)の投票日の立会演説会では、立候補者それぞれが生徒会役員としての想いを自分の言葉で語りかけました。また、立候補者の応援者として、前でスピーチしてくれた生徒も胸を張って立候補者を推薦できるエピソードなどを話して後押ししていました。一般生徒も真剣に演説を聞いていて、立候補者も一般生徒も一体となって新しい生徒会を真剣に考える、とても良い雰囲気でした。新役員に当選した人は演説での自分の言葉に責任をもち、より良い学校を作っていくための行動に期待しています。



令和4年度後期生徒会 役員会・各種委員会

	第1学年	第2学年	第3学年
役員会			
学級委員			
生活委員			
美化委員			
保健委員			
放送委員			
図書委員			
体育委員			
福祉委員			

◎委員長 ○副委員長 ◆書記 (敬称略)

PTAブイ・フロート清掃

小笠原小4～6年生と小笠原中1～3年生の児童・生徒、保護者・地域の方々、教職員が共に汗を流し、ブイ・フロートの清掃を行いました。清掃の前には、小笠原スクーバダイビング安全対策協議会の皆様に撤去のご協力をいただき、大変ありがとうございました。今年度も大きな事故等なく、青灯台付近で子供たちが安全に遊泳できました。

ご協力いただきました関係機関の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。



小中高連合運動会

令和4年10月2日(日)

開会式 午前8時30分開始

閉会式 午後0時30分終了(予定)

※中学生は昼食ありで、午後は片付け・学活等を行います。下校予定は午後3時40分(バス午後3時50分発)です。

※延期の場合は、午前6時に学校から安心安全メールでご連絡します。

※新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために、参観者は保護者(兄弟姉妹・祖父母等を含む)及び村教育委員会等学校関係者のみとします。今年度も地域参加種目は実施しません。

※テントや敷物等の設営・場所取りは、開催当日の午前6時からです。校庭に場所取りをされる方は、支庁側の校庭入口にお並びください。小学校校舎前(犬走り)に場所取りをされる方は、仮設階段上付近にお並びください。

10月の行事予定

1日(土) 都民の日 授業日 安全指導 自転車安全点検 運動会準備	17日(月) 学校朝礼 役員会・各種委員会
2日(日) 小中高連合運動会	18日(火) お弁当の日 中央委員会
3日(月) 振替休業日	20日(木) SC勤務 ジュニア育成地域推進事業「中学バレーボール強化練習」(23日まで)
4日(火) 振替休業日	21日(金) 第2回進路説明会(午後3時～)
5日(水) 生徒会朝礼 小笠原の歴史学習(2年) 芝生の日 小中連携の日	24日(月) 学校朝礼 学校公開始 三者面談(3年)始
6日(木) 避難訓練 SC勤務 役員会・各種委員会	26日(水) 校内研修
7日(金) 食育講話 中央委員会	27日(木) 生徒会総会リハーサル SC勤務
8日(土) 英語検定(一次)	28日(金) 生徒会総会
10日(月) スポーツの日 小中高連合運動会(予備日)	29日(土) 授業日(5時間授業) 学校公開終 先輩の話を聞く会(2年) 保護者会(午後3時～)
11日(火) 小中高連合運動会(予備日)	31日(月) 学校朝礼 SC勤務 第2回小中高教科交流会 第3回小中高連合運動会合同職員会議
12日(水) 職員会議	
13日(木) 中央委員会 SC勤務	